

実施計画事業名		森林整備保全事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		建設産業部 農政課		課長(主幹)名	相馬 義則			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化					
	施策	3	林業の振興を図ります					
	関連施策							
現状と課題	森林は国土保全や水源かん養、保健休養など公共的機能のほか、地球温暖化の原因の一つでもある二酸化炭素の吸収源でもある。育成及び保全に必要な管理に対して支援を継続する必要がある。稚内市緑のまちづくり条例施行規則第9条により、市民参加での緑のまちづくりの推進を図る。							
目的	市有林を適切に保全し、その公益的機能が発揮できるよう、計画的な整備に努めるとともに、市民及び町内会等の緑化推進整備を図る。							
施策展開の	市有林を適切に保全し、その公益的機能が発揮できるよう、計画的な整備に努めるとともに、私有林の整備を促進する為、間伐や造林等の森林整備事業を支援します。併せて市民参加の緑化推進を図る。							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	森林面積		ha	目標	23,497	23,497	23,497	
説明	市有林・私有林の合計面積			実績	23,824	23,831		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	市有林造林面積		ha	目標	5	5	5	
	説明	造林を行なった市有林の面積			実績	5		
	市有林間伐面積		ha	目標	50.0	50.0	50.0	
	説明	間伐を行なった市有林の面積			実績	50.0	68.0	
	市民植樹祭		ha	目標	0.5	0.5	0.5	
	説明	緑化推進を行なった面積			実績	0.4	0.2	
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	25,954	38,008	32,805	平成22～23の2ヶ年で林内作業路整備事業を実施した。	
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	14,235	20,075	8,512		
	起債		千円	6,000	11,300	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	5,719	6,633	24,293		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.35	0.91	0.91		
	人件費(B)		千円	9,168	6,328	6,328		
計(A+B)		千円	35,122	44,336	39,133			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 国は、平成21年11月に、10年後の木材自給率50%を目標に、施業集約化、国産材の利用拡大に向けた取組を行う「森林・林業再生プラン」を示した。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 川西地区において、道の補助制度を活用し平均林齢37.6年の市有林31.39haの搬出間伐事業を実施し、間伐木の売払いを行った。今後も、搬出間伐事業を継続していくとともに、市有林の保育等を目的とした造林、下刈り、除間伐事業を継続する。また、市民植樹祭で植樹した苗木の活着率を高めるために、平成23年度から大きい苗木を選定し植樹を行った。「森林・林業再生プラン」に基づく具体的な施策が示されたことから、関係団体等と協議を行い本市の森林整備計画(~平成33年度)の見直しを行った。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--